

学校だより(いしがき)

第11号 令和3年7月19日
文責: 校長 石橋 節二 TEL94-2038

学校教育目標

「ふるさと中原を担う生徒の育成」

～自律と共同を通して～

今回の学校だよりは、1学期終業式式辞、中原中学校校訓(昭和61年制定)、地区中体連結果、身近な野鳥(最終回)「スズメ」、新聞難解語句、難読漢字、7月下旬～9月初旬の主な行事について紹介します。

○1学期終業式校長式辞

☆今年も感染拡大防止の観点から3密を防ぐということで、集会行事や体験活動などでも大きく変更しなければならなかったり、体育の授業をはじめ各教科の授業においてもいろいろな活動が制限されたりして、生徒の皆さんに不自由な思いをさせてしまいました。

こういう状況下でも皆さんはとてよく頑張りました。中原中学校生徒として、とても立派でした。生徒会活動では、生徒総会や生徒集会をリモートで行ったり、各専門部の活動が制限されたりしましたが、そういう困難な中においてアイデアを出し合って工夫を凝らした取組をしてくれました。また、今年も定期的に朝の挨拶運動に取り組んでくれました。学習面においても一生懸命に授業に集中し、皆さんの「学ぶ力」がとてよく発揮されていました。他にも朝の挨拶や道で会った時の挨拶など、自然なかたちで身につけている様子をいろいろな機会に拝見でき、みなさんの「人間性豊か」な部分を十分に感じることができました。

皆さん一人一人の努力のおかげで、こういう状況の中でも中原中学校はすてきなすばらしい学校を維持できていると思います。1学期が終了するにあたり、まず、このことについて皆さんにお礼を言いたいと思います。本当にありがとうございました。

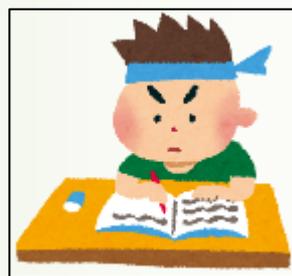
○さて、皆さんは、この夏休み、どのような計画を立てているのでしょうか？

校長として毎年皆さんたちをお願いしていることが3つあります。それは、この夏休みを、「**学習の振り返りをする機会**」「**生活の振り返りをする機会**」「**自分の将来のことをじっくり考える機会**」にしてもらいたいということです。

★1つ目の、「**学習の振り返りをする機会**」とは、これまで学習した教科書の内容を読み返してみる機会だということです。教科書を読んで、教科書に書かれている問題をやってみてください。どこが理解できたのか、どこをもっと勉強しなければいけないのか、整理してみるとともに、よく理解できていないところを見つけ、復習に取り組むことができる大切な機会であると思います。

★2つ目の、「**生活の振り返りをする機会**」とは、まさに自分自身の生活の振り返りをするということです。自分に問いかけることで、これからの人生をたくましく生き抜いていくための「心の力」を身につける機会となります。自分自身に対して「あなたはどうかだった？」と、ぜひ、問いかけてみてください。

★3つ目の、「**自分の将来のことをじっくり考える機会**」とは、自分が将来、就職も含めどんな生き方をするか考えることです。人は働くことで、自分や家族の生活を支えるとともに、充実感を味わい、いきがいのある人生を実現していきます。また、働くことは、社会を支えることにつながります。私たちは働くことで社会全体が充実し、また一人一人の真の幸福を実現していくこととなります。自分は将来、どのような生き方をしたいのか、そのためには現在どのような力が不足していて、どのような力を付けていくべきか、自分の夢の実現のためにはどのような学校に進み、どのような勉強をすればいいか、そういうことを是非考えてみてほしいと思います。



◎中原中学校 校訓「英知・忍耐・誠実」について

中原中学校の校訓は「英知・忍耐・誠実」です。この校訓は、昭和61年(1986年)、**第15代校長 松枝 邦成先生**の時に制定され、今年で36年目を迎えます。学校要覧によると本校の校訓には以下のような意味が込められています。

英知：時代を越えて働く知恵

忍耐：目的に向かい困難に負けないこと

誠実：状況に左右されない真心



【漢字よみ】①はやし ②まんじゅう ③あんど ④おうと ⑤うぐいす ⑥なおらい ⑦もなか・さいちゅう・さなか

◎三養基・神埼地区中体連総合大会の結果

7月3日(土)、4日(日)、10日(土)、11日(日)に三養基・神埼地区中体連総合大会が開催されました。当日は、途中雨も降り高温多湿のコンディションの中での試合でしたが、生徒たちは試合終了の合図が鳴るまで持てる力を十分に発揮し、今年も各会場で感動ある最高の試合をしてくれました。また、今年も、県中体連大会も計画されていますので、団体戦や個人戦で出場権を獲得した人は、頑張っしてほしいと思います。

【団体】

・女子卓球 3位 ➡ 県大会出場 ・男子卓球 3位 ➡ 県大会出場 ・男子剣道 3位 ➡ 県大会出場
・軟式野球 2位 ・男子バレー 3位 ・女子剣道 惜敗
・女子バレー 予選リーグ惜敗 ・女子テニス 予選リーグ惜敗 ・サッカー 惜敗

【個人】

※学校HPにも紹介しますので、個人名は控えています。

・女子剣道 1位(県大会出場) ・男子卓球 1位(県大会出場) ・女子ソフトテニス ベスト8

○身近な野鳥 パート20(最終回)「スズメ」

スズメは全長約14-15cmで、日本では鳥の大きさ等を比較する場合の基準となる「ものさし鳥」の一つです。食性は雑食性で、イネ科を中心とした植物の種子や虫を食べます。何でも食料にする雑食性が、都市部での繁殖を可能にした理由の1つと考えられています。春先は苗の害虫を食べる益鳥として扱われ、秋には稲の籾米(もみごめ)を食害する害鳥となります。「かかし」は、スズメ追いの道具として作られたものです。

スズメは身近な野鳥のため、小林一茶の俳句「雀の子そこのけそこのけ御馬が通る」や民話「舌切り雀」、童謡「雀の学校」、慣用句「雀の涙」(=「小さい」「ごくわずか」などの意味として用いられる)など、我々の生活に密接にかかわっています。



○新聞難読・難解語句

瘴気(しょうき)：昔、ある種の病気を引き起こすと考えられていた「悪い空気」。山川の毒気。

キューポラ：鉄を溶かし液体状にするための溶解炉のこと。

いちごさん：佐賀うまれの新しいいちごの品種。

辛辣(しんらつ)：非常に手厳しいという意味。使用例として「辛辣な言葉」や「辛辣な態度」「辛辣な意見」がある。

豊穰と豊饒(ほうじょう)：豊穰は穀物が豊かに実ること(五穀豊穰)。豊饒は土地が肥えていること。

はやぶさ：2003年日本で打ち上げられた探査機。小惑星イトカワに着陸し、2010年サンプルを持ち帰ってきた。

はやぶさ2：太陽系の誕生と生命誕生の秘密を解明するため、小惑星リュウグウの地下サンプルを持ち帰ってきた。

小惑星リュウグウ：地球の近くにある直径0.7km程度の小惑星ではやぶさ2の目標天体。

満を持する：弓を十分に引いて構える。転じて、準備を十分にしておいて機会を待つ。

震撼(しんかん)：ふるい動かすこと。また、人をふるえあがらせること。例：世間を震撼させた事件

To be continued：つづく、続きはまた今度

是々非々(ぜぜひひ)：立場にとらわれず良いことは良い、悪いことは悪いと判断するという意味。

一蓮托生：よい行いをした者は極楽浄土に往生して、同じ蓮の花の上に身を託し生まれ変わる。転じて、事の善悪にかかわらず仲間として行動や運命をともにすること。

杜氏(とうじ)：酒づくりの職人の長。また、その職人。

冥利に尽きる(みょうりに)：その立場にいる者として、これ以上の幸せはないと思う。例：役者冥利に尽きる。

横溢する(おういつ)：水がみなぎりあふれること。気力などがあふれるほど盛んなこと。

○難読漢字(いくつ読めますか?)

①噉子 ②饅頭 ③安堵 ④嘔吐 ⑤鶯 ⑥直会 ⑦最中

○7月下旬～9月初旬の行事予定

・1, 2年生二者面談、3年生三者面談 7/26～8/2
・県吹奏楽コンクール 7/25(日)
・学年登校日 1, 2年生 8/23(月)
・2学期始業式 9/1(水)

※太文字は全校生徒関係分

・県中体連大会 7/24(土)～7/26(月)
・全校登校日 8/5(木)
・3年生SAGAテスト 8/24(火)、25(水)
・学力テスト 9/2(木)、3(金)